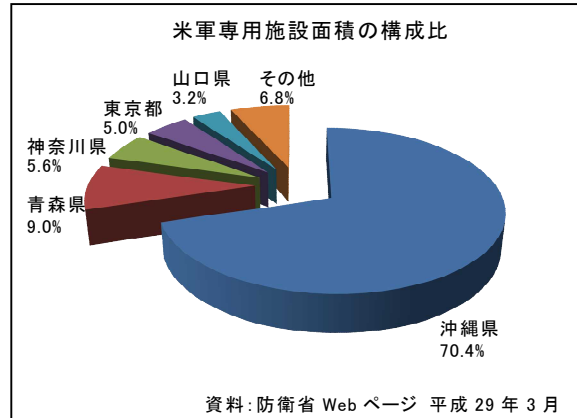


2-4 基地環境問題の現況と課題

沖縄県における基地問題の概要

- 本県には、全国の米軍専用施設面積の約70%にのぼる広大な米軍基地が所在しており、計画的な都市づくりや交通体系の整備、産業用地の確保等、本県の振興開発を推進する上で大きな制約となっています。
- 米軍人や軍属等による事件・事故の発生は、県民に大きな不安を与えており、航空機等による騒音問題や水質・土壌汚染問題、さらには演習等による自然環境への影響が懸念されています。
- 米軍基地から派生する様々な問題について、県では基地周辺における環境調査の定期的な実施や航空機騒音の継続的な監視、さらには米軍への要請等を含めて対応してきました。
- また、県ではこれまで過重な基地負担を軽減するため、平成8年(1996年)に合意された「沖縄に関する特別行動委員会(SACO)」の着実な実施に取り組んできており、今後、嘉手納飛行場より南の米軍施設・区域のさらなる整理や統合・縮小を進めています。
- 今後、返還される予定の米軍施設・区域には、普天間飛行場や北部訓練場や那覇港湾施設などがあります。
- 米軍施設・区域の返還にあたっては、県は国により実施される原状回復に伴う環境調査の適正化を促すと共に、対象となる米軍基地を抱える市町村と県が連携し、各地域に応じた跡地利用計画の策定や地域住民及び県民の意向の醸成等に努めていく必要があります。

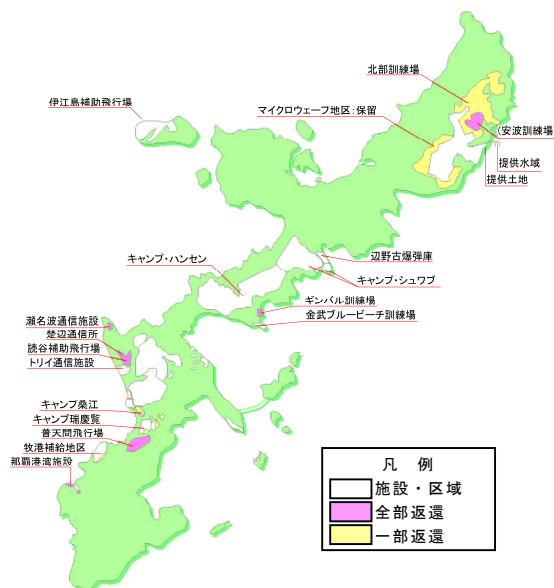


米軍ヘリ墜落跡(沖縄国際大学)

SACO最終報告による米軍施設・区域の返還等



普天間飛行場



資料：「沖縄の米軍基地の現状と課題」(平成20年(2008年)3月時点)
沖縄県知事公室基地対策課

2-4-1 米軍基地における水質問題

現況

- 県では在沖米軍施設・区域に起因する環境汚染を防止するため、基地周辺の公共用水域等水質調査をキャンプ・シュワブ、キャンプ・ハンセン、嘉手納飛行場、キャンプ桑江、キャンプ瑞慶覧の5施設で実施しています。また普天間飛行場周辺の地下水水質についても調査を実施しています。
- 平成28年度(2016年度)における水質調査結果では、1地点で生活環境項目(大腸菌群数)の環境基準を超過しましたが、自然発生的な原因によるものと考えられます。その他の項目及び他の地点については、全て基準に適合しました。
- 基地内では河川や海域への油の流出等、突発的な事故がこれまで多発しており、また、基地内への立入り制限のため事故調査等行えない状況にあり、水質に関わる生活環境や自然環境への影響が懸念されます。
- 油脂類の流出による水域等の汚染については、復帰後昭和 51 年の年間13 件をピークに、昭和 52 年から平成 6 年までは年間0 件から1 件となっています。平成 7 年以降は、平成 21 年の 11 件が最も多く、2 件から11 件の間で推移しています。



キャンプ・シュワブ

水質に関わる これまでの主な事故等		最近の主な発生事例
油流出	<p>【嘉手納飛行場】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・戦闘機の洗機や油水分離槽の故障等による燃料油等の流出事故 ・戦闘機滑走路脱線燃料漏れ事故 <p>【キャンプ・シュワブ沖合】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水陸両用車の炎上 <p>【キャンプ・ハンセン】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工事用車両機械油流出事故 <p>【キャンプ・瑞慶覧】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボイラー室からの燃料流出事故 <p>【普天間飛行場】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ジェット燃料流出事故 	<p>【キャンプ瑞慶覧】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・車両が追突し、ジェット燃料が漏出(平成 26 年 12 月 10 日) <p>【普天間飛行場】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・燃料ポンプシステムの不具合により、ディーゼル燃料が漏出(平成 27 年 9 月 16 日) ・燃料を輸送中にバブルの不具合により、ジェット燃料が漏出(平成 28 年 6 月 15 日)

2-4-2 米軍基地及び返還跡地における土壤汚染問題

現況

- 本県においては、米軍基地に起因する土壤汚染の事故が発生しており、周辺住民の生活環境及び自然環境への影響が懸念されています。
- 事故の内容は有害物質を含む汚水処理槽内汚泥、廃油の投棄、埋設されたドラム缶等でその内容も様々です。
- これまでに検出された汚染物質にはPCB、カドミウム、六価クロム等があります。
- 事故発生後の対応については、米軍には原状回復の義務はなく、また、基地内への立入りには制限があるため事故調査等が行えない状況にあり、生活環境や自然環境への影響が懸念されます。



北谷町におけるドラム缶に入ったタール状物質の発見現場

土壤汚染に関わるこれまでの主な事例等	
有害物質 検出	【恩納通信所跡地】 汚水処理槽内の汚泥や流出口付近からカドミウム、水銀、PCB等の有害物質が検出 【キャンプ瑞慶覧】 排水管沈澱物からPCBが検出 【航空自衛隊恩納分屯基地(昭和48年(1973年)まで米軍基地として使用)】 旧汚水処理施設からPCBが検出
廃油投棄	【嘉手納基地内のため池】 PCBを含んだ変圧器等の廃油が投棄された可能性
鉛・六価ク ロム検出	【嘉手納弾薬庫】 バルブボックス底部の土壤から鉛及び六価クロムが検出
ドラム缶投 棄	【北谷町美浜の空き地(昭和56年(1981年)に返還された射撃場跡地)】 米軍投棄のタール状物質入りドラム缶が発見され、周辺土壤を広範囲に汚染
土壤汚染	【キャンプ桑江】 ・特定有害物質(砒素、鉛、六価クロム)の検出 ・油分・油臭の確認 ・古い銃弾等の確認 ・PCB使用の可能性のある安定器の回収 【キャンプ瑞慶覧(泡瀬ゴルフ場)返還跡地】 ・特定有害物質(鉛及びふっ素)の検出 ・油分・油臭の確認 【沖縄市サッカー場】 ・米軍基地跡地であるサッカー場からドラム缶が出土し、付着物等から基準値を超過する有害物質が検出

2-4-3 米軍基地における騒音問題

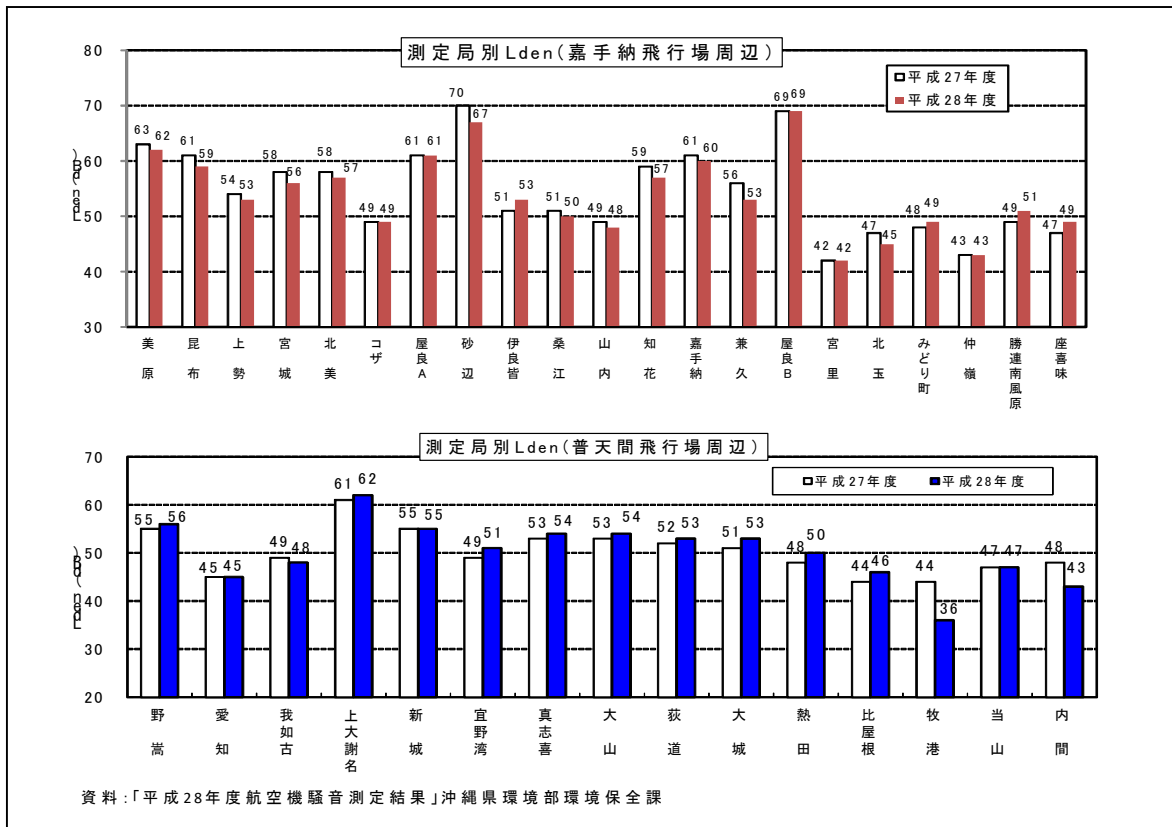
現況

米軍機による騒音発生

- 嘉手納飛行場及び普天間飛行場は、いずれも住宅密集地に隣接しており、両飛行場を離発着する航空機による騒音被害は広範囲に及んでいます。嘉手納飛行場においては、F-15戦闘機等の常駐機に加え、空母艦載機や国内外から飛来する航空機による離着陸やタッチ・アンド・ゴーなどの飛行訓練や低空飛行、住宅地域に近い駐機場でのエンジン調整等も行われています。また、普天間飛行場においては、MV-22オスプレイやヘリコプター等の航空機離着陸訓練や民間地域上空でのヘリの旋回訓練等が行われています。

騒音の影響・測定結果

- 嘉手納飛行場及び普天間飛行場は、米軍の運用上の理由により夜間使用されることもあり、また、軍用機は民間航空機に比べて騒音が大きいため、周辺住民への航空機騒音曝露は激甚なものとなっています。沖縄県が平成7年度(1995年度)～平成10年度(1998年度)まで行った航空機騒音による健康への影響に関する調査の結果、聴力損失をはじめとする身体的影響、精神的影響、情緒的影響、生活妨害、睡眠妨害、新生児・幼児・学童への影響等が広範に発現していることが認められています(「航空機騒音による健康への影響に関する調査報告書」平成11年3月、沖縄県文化環境部)。
- 沖縄県及び関係市町村による平成28年度(2016年度)航空機騒音測定結果によると、嘉手納飛行場周辺の19地点中6地点、普天間飛行場周辺で13地点中1地点で環境基準値を超えています。



米軍関係機関への要請

- 県では、基地周辺の騒音監視調査を毎年継続して実施し、その結果に基づき、三者連絡協議会等の場において、米軍関係機関に対し、騒音の軽減策を講じるよう要請を行っています。
- 沖縄県軍用地転用促進・基地問題協議会(軍転協)、沖縄県及び関係市町村は、嘉手納、普天間飛行場における航空機騒音を軽減させるため、「航空機騒音の軽減に関する措置」をまとめ、日米両国政府に要請しています。また、平成7年度(1995年度)に「嘉手納飛行場における海軍駐留の撤去又は移設」の要請を行いました。
- このような地元の要請を受け、日米両国政府は日米合同委員会(平成8年(1996年)3月)において、「嘉手納飛行場及び普天間飛行場における航空機騒音規制措置」について合意しています。しかし、依然として騒音が発生しているとの地元市町村からの指摘があることから、騒音の軽減等について引き続き要請していく必要があります。



普天間飛行場へ着陸する航空機



普天間飛行場



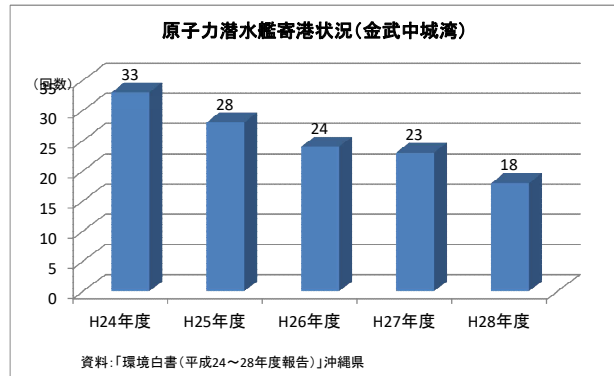
嘉手納飛行場

2-4-4 米軍基地における放射能問題

現況

原子力艦の寄港

- 勝連半島の先端部に位置するホワイト・ビーチ地区は、米軍の原子力艦の寄港地となっており、平成28年度(2016年度)では年間18回寄港(年度集計)しています。



- 県では、昭和47年(1972年)から環境放射能調査、地下核実験

等による放射性降下物の影響調査及び原子力艦の寄港に伴う放射能調査を実施しており、原子力艦の寄港時における放射能測定結果では、これまで異常は認められていません。

鳥島射爆撃場問題

- 鳥島射爆撃場は、戦後、米軍により使用され、復帰以降も使用されており、島全体の形状が訓練や自然風化によって年々変化しています。平成7年(1995年)～平成8年(1996年)における劣化ウラン弾誤射事故や、平成20年(2008年)の海兵隊ハリヤー機の250キロ爆弾誤投下事故等が発生しており、地域住民の生活環境や自然環境への影響が懸念されています。

2-4-5 米軍基地における自然環境への問題

現況

北部訓練場

- 沖縄島北部に位置する北部訓練場は、ヘリコプター着陸帯の移設及び進入路等支援施設の整備が完了し、平成28年12月に訓練場の過半が返還されました。北部訓練場に位置するやんばるは、ノグチゲラやヤンバルクイナなどの固有種をはじめ、世界的に貴重な動植物の宝庫で



北部訓練場

あることから、ヘリコプター着陸帯の運用等による自然環境への影響及び周辺住民の生活環境への影響が懸念されます。

キャンプ・シュワブ

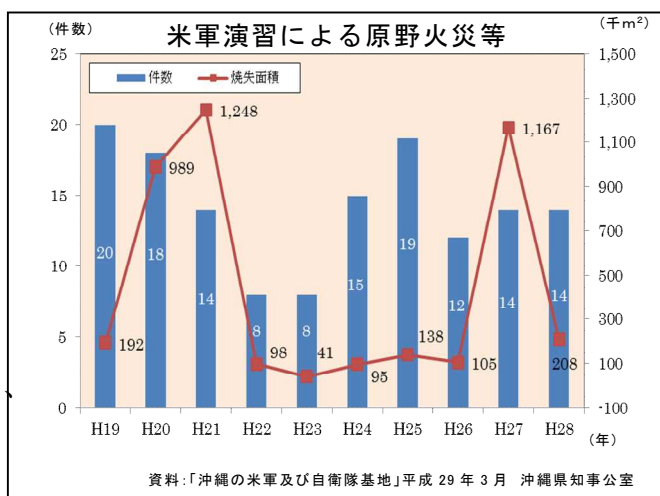
- 沖縄島東海岸に位置する辺野古海域は、現在、普天間基地の返還に伴う代替施設の建設予定地となっていますが、辺野古の海に広がる藻場が国の天然記念物や国際自然保護連合のレッドデータブックの危急種に指定されているジュゴンの餌場になっている可能性が高く、また、建設予定地周辺で希少な動植物の生息・生育が確認されていることから、これら動植物への影響や騒音等による地域住民への影響が懸念されています。



キャンプ・シュワブ

キャンプ・ハンセン

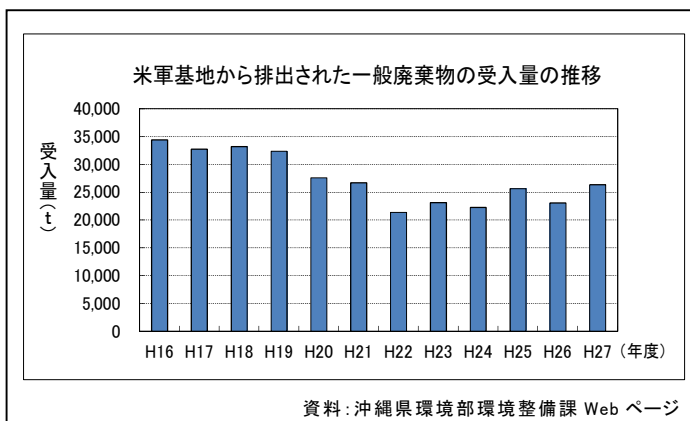
- キャンプ・ハンセン演習場では、度重なる実弾演習や、それに伴う山火事の発生などにより、大切な緑が失われ、山肌がむき出しになるなど、かけがえのない自然環境が損なわれています。山肌からは大量の赤土等が金武湾に流出し、大量の土砂が堆積してサンゴ礁を汚染したこともあります。



2-4-6 米軍基地における廃棄物問題

現況

- 本県には全国の米軍専用施設の約70%が集中しているものの、在沖米軍基地内には廃棄物処理施設が整備されていないことから、米軍基地から排出される廃棄物については、県内の廃棄物処理業者において収集し基地外へ運搬後、分別・焼却等の中間処理、最終処分が行われている他、一部は県外に搬出されています。
- これら業者の報告及び聞き取りによると、基地内から排出される一般廃棄物は、平成27年度(2015年度)の1年間で約2万6千トンとなっています。
- その他の廃棄物については、公表や通知がないため、種類ごとの排出量や処理の状況を正確に把握することは困難となっています。



これまでの取組と今後の課題

取組実績の例

- ・米軍航空機騒音の監視測定
- ・基地排水監視調査及び基地周辺公共用水域の水質等監視調査
- ・米軍基地内の裸地を把握、米軍基地からの赤土等流出量推計
- ・赤土等流出の確認時における基地内立入の要請
- ・原子力艦の寄港に係る放射能対策(放射能レベルの監視等)
- ・米軍による環境影響評価実施等の要請
- ・基地内で環境汚染が発生した際の県によるサンプリング調査、原因究明の要請
- ・米軍基地からの廃棄物状況調査、廃棄物の分別、適正処理等の要請

課題

- 下水処理施設の汚水や油脂類等の漏出による河川・海域の水質汚濁の改善
- 米軍基地への立ち入りの権利の確立
- 水質浄化対策の汚染原因者への義務づけ
- 水質浄化、改善後の実態の把握
- 返還跡地の環境浄化対策の確立
- 土壌汚染のモニタリングの制度化
- 基地返還に伴う適正な土壌調査、土壌汚染処理対策の確立及び沖縄県米軍基地環境調査ガイドラインの活用
- 返還跡地の汚染土壌等処理対策
- 土壌及び地下水浄化対策の汚染原因者への義務づけ
- 土壌及び地下水汚染浄化技術の確立
- 土壌及び地下水浄化、改善後の実態の把握
- J E G S (日本環境管理基準)改正に関わる日米両国政府への働きかけ
- 一層の騒音改善を図るよう日米両国政府に対する働きかけ
- 騒音の監視測定の強化
- 環境放射能調査の継続、情報提供の充実
- 原子力艦寄港に伴い異常値が検出された場合の原因追及、放射能レベルの把握、周辺住民の安全確保等対応の確立
- 貴重な野生動植物の生息・生育環境や生態系の保全
- 自然環境の保全に係る調査
- 干潟、藻場、サンゴ礁等機能の維持及び生態系の保全
- 米軍基地における土壌汚染、赤土流出等についての未然防止
- 米軍基地内における廃棄物の発生、処理、保管等の実態把握
- 国内法の基準を遵守した廃棄物の適正処理の徹底

■課題解決に向けた目標設定及び施策は第3章に記載

第3章 3-6-1 環境保全のための共通的・基盤的施策(P181に記載)

①共通的・基盤的施策の総合的な実施による計画の推進

3-7-1 基地関連公害の防止(P183に記載)

①基地関連公害の防止